

事業戦略

エネルギー事業

3 海外エネルギー

2040年の目指す姿

海外におけるEX(エネルギー・トランスフォーメーション)の主要プレイヤーへと成長する

強み

- 水力、風力、火力、送配電等で構成される海外事業ポートフォリオによる収益基盤
- 国内外での発電・送配電事業等で培った経験・知見

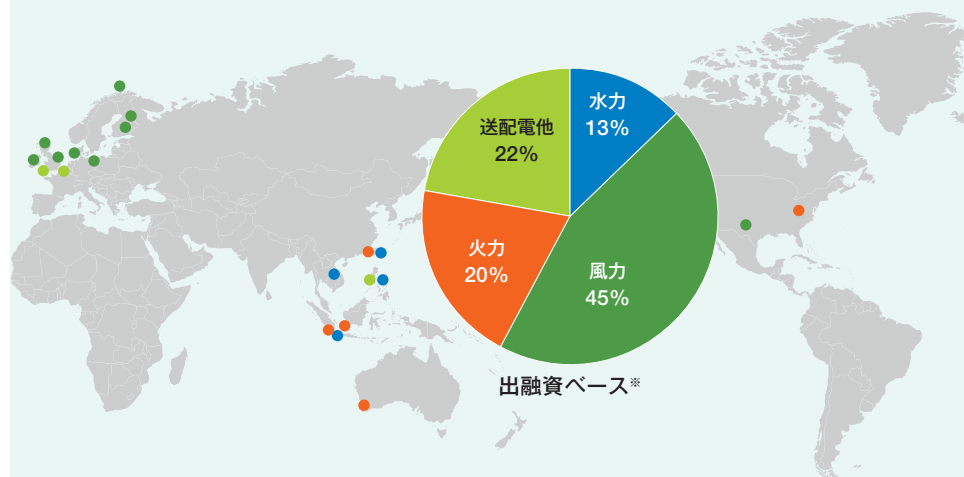
機会とリスク

- グローバルな電力需要増加や脱炭素化の進展により、再生可能エネルギー、蓄電池、送配電等の事業機会が継続
- 一方で、紛争等による地政学リスクの高まり、各国の実利志向による一時的な化石燃料回帰などにより、事業環境の不確実性が増加

戦略

- 当該地域での経験が豊富なパートナーとの関係を構築し、リスク分散を念頭に、投資効率を踏まえた戦略的な投資をおこなう
- 国家・地域のエネルギー・トランスフォーメーションに関与することで、中長期的な収益貢献と海外エネルギー分野でのプレゼンス確立を目指す

海外事業のポートフォリオ



- 11カ国、21プロジェクトに参画中※
- 出資割合分の発電容量は約242万kW
- ※ 2026年3月末現在

特に注力する領域

ポートフォリオのアセットマネジメント推進

- 戦略的な資産入替も含め、ポートフォリオからの収益の着実な向上・安定化を図ります。

新規案件への投資継続

- 2040年の事業利益およびROIC目標達成に向け、再エネ、蓄電池、送配電等を中心に、投資効率を踏まえた新規案件への投資を継続します。

経験豊富なパートナーとの関係構築

- 海外拠点や投資先事業会社等での活動を通じ、各国・地域の現地事情等に精通し事業経験豊富なパートナーとの関係を構築します。

官民連携による案件開発

- 国際連系線等の案件開発に関し、各国政府と日本政府間のG to Gの枠組みを活用します。

具体的な取組み

資産入替も含めたポートフォリオマネジメントにより安定的に収益を確保しつつ、アジア・北米・欧州を中心に、グローバルな事業拡大を進めています。2025年4月、スペインの大手電力会社イベルドロラ社が手掛けるドイツ連邦共和国のヴァインダンカー洋上風力発電事業へ参画しました。本事業は当社にとって海外5件目の洋上風力案件です。総発電容量31.5万kW

の着床式洋上風力発電機を順次設置中であり、2026年中の商業運転開始を予定しています。

また、2026年7月には、フィリピンのインフラ大手プライムインフラ社が建設中のワワ揚水発電事業に参画しています。当社にとって初の海外での揚水発電事業になります。これまで国内で培った揚水発電の建設・運用の知見と経験を活用し、本事業に貢献していきます。

こうした取組みを通じて、海外で獲得した案件開発・運営の知見を国内事業にも還元しながら、海外におけるEX(エネルギー・トランスフォーメーション)の主要プレイヤーへの成長を目指します。

